

柏崎刈羽原子力発電所3号機 所内変圧器3B火災の原因調査結果について（概要）

1. 事象発生時の状況

平成19年7月16日10時13分に発生した新潟県中越沖地震後、10時15分、運転員が3号機所内変圧器3Bからの発煙を確認し、12時10分、消防署により鎮火が確認された。なお、防火壁の設置等により、他の設備への延焼はなかった。

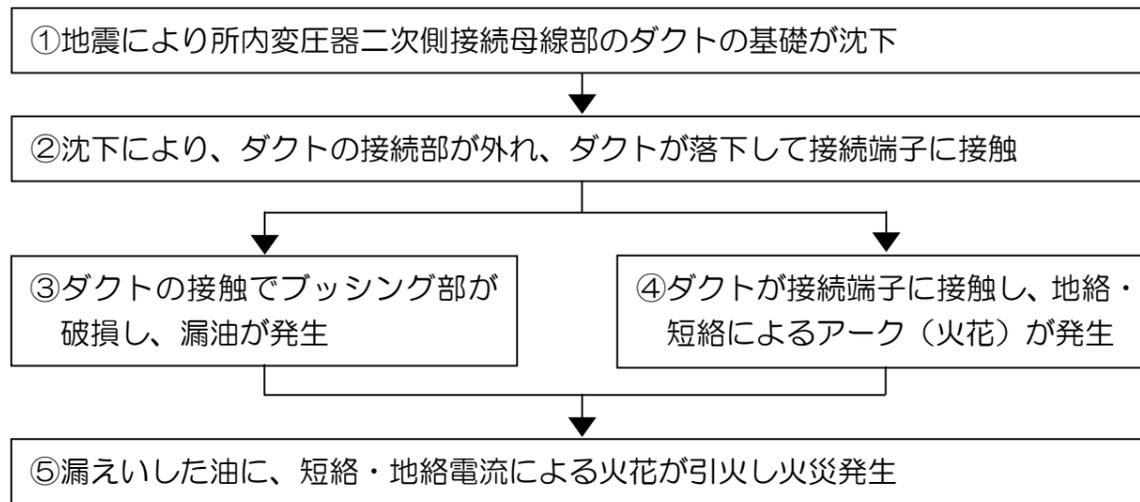
2. 調査結果

(1) 目視点検結果

- ① 変圧器基礎部に対し当該変圧器二次側の接続母線部の沈下が見られた。
- ② 当該変圧器と当該変圧器二次側の接続母線部が上下にずれていた。
- ③ 変圧器二次側のブッシングからの漏油が確認された。
- ④ 当該変圧器二次側の接続母線部の接続ダクトに激しく火災の痕跡があり、母線部にあいた穴から目視調査をしたところ、母線部の一部が溶損・破断していた。
- ⑤ その他、変圧器本体などに変形や漏油などは確認されなかった。
- ⑥ 変圧器内部に放電などの異常は確認されなかった。

(2) 発電機回路の電圧・電流の記録から、タービントリップを受けての発電機のトリップリレー動作後に発電機遮断器が開放され、発電機電圧が低下する途中（発電機のトリップリレー動作後約1.6秒の時点）で、一旦ゼロになっていた発電機回路の電流の急上昇と発電機電圧の急激な低下が記録されていることから、回路において何らかの地絡・短絡現象が発生したと考えられた。

3. 推定原因



4. 今後の対応

事象の原因調査結果を踏まえ、必要な対策について検討中。

